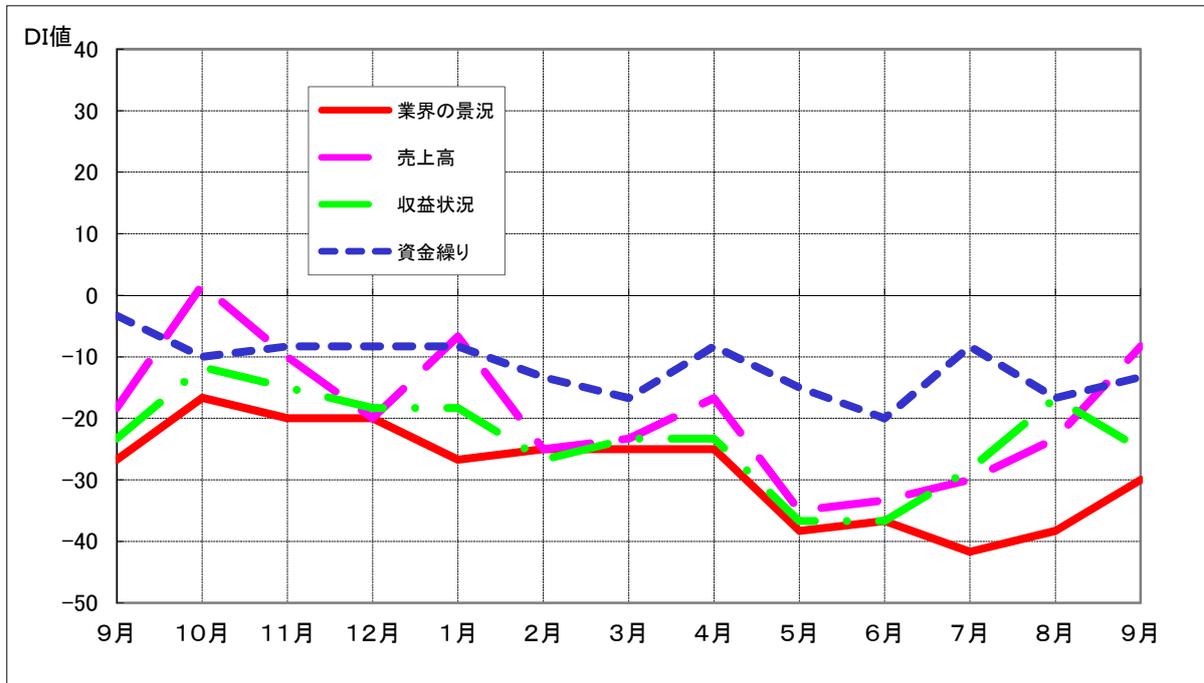


## 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成30年9月～令和元年9月

単位:ポイント



	H30				H31				R1				
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
業界の景況	-26.7	-16.7	-20.0	-20.0	-26.7	-25.0	-25.0	-25.0	-38.3	-36.7	-41.7	-38.3	-30.0
売上高	-18.3	1.7	-10.0	-20.0	-6.7	-25.0	-23.3	-16.7	-35.0	-33.3	-30.0	-23.3	-8.3
収益状況	-23.3	-11.7	-15.0	-18.3	-18.3	-26.7	-23.3	-23.3	-36.7	-36.7	-28.3	-16.7	-25.0
資金繰り	-3.3	-10.0	-8.3	-8.3	-8.3	-13.3	-16.7	-8.3	-15.0	-20.0	-8.3	-16.7	-13.3

9月のDI値は前月と比べ、3項目改善、1項目悪化であった。「業界の景況」DI値は8.3ポイント、「売上高」DI値は15ポイント、「資金繰り」DI値は3.4ポイントそれぞれ改善した。また、「収益業況」DI値は8.3ポイント悪化した。

前年同月比で見ると1項目改善、3項目悪化となり、「売上高」DI値は10ポイント改善した一方で、「業界の景況」DI値は3.3ポイント、「収益状況」DI値は1.7ポイント、「資金繰り」DI値は10ポイントそれぞれ悪化した。

連絡員からは、主に非製造業から、消費税増税の駆け込み需要について報告があった。特に、大型商品・高額商品の売上増加の声が目立つ。一方、10月以降の消費の冷え込みを懸念する声も業界問わず寄せられている。

組合からの特記事項としては、多くの非製造業と一部の製造業から、消費税増税の駆け込み需要について報告があった。特に小売業・商店街からは、大型商品・高額商品の売上増加の報告が目立ったほか、駆け込み需要による客数の伸びが軽減税率対象外である飲食料品の売上げにも繋がったとする小売店もあった。一方、製造業・建設業については、一部を除き、消費税増税の影響を感じられないとする報告が多く、特需がすでに落ち着いている状況のようだ。

業種問わず、10月以降の消費の冷え込みを懸念し、それぞれ対応に迫られている。